

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校教育指導運営事業			会計	款	項目	大専	小専	
				01	10	03	01	04	01
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	指導課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	西村 淳				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内中学校教職員及び中学校生徒	意図	中学校における情報教育の充実及び生徒の学習環境の充実を図る。中学校における学校図書館の充実を図る。
事業内容	情報教育の整備、特にパソコン備品等の購入等により教育内容の充実を図る。上級学校進学のための資料請求や購入により、生徒への進路指導の充実を図る。中学校の学校図書館の充実。			
事業開始から現在までの状況変化	この事業により、学習環境の整備が行われ、生徒がより情報教育（パソコン）への興味・関心が高まり、授業に於いても効率よく活用することができている。また、色々な分野において、活用の工夫が見られてきている。また、多くの生徒が自分の進路開拓を進めながら、将来を見据えた目標を持ち、上級学校への進学を希望している。また、学校図書館図書整備、学校図書館司書の配置により読書活動が推進された。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	学校図書館司書配置人数		3	8	名	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	上級学校進学のための資料請求や購入により、生徒への進路指導の充実が図られている。また、「学校司書」の配置が法的に努力義務として位置づけられるなど、学校図書館に人を配置することの重要性と社会的要請がますます高まっている。さらに、市内全中学校にパソコンが配備され、生徒が様々な情報を得ることができ情報教育充実に役立っている。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,554,662	2,525,260	9,710,748				
事業費(b)(円)	1,524,912	1,518,460	8,721,948				
うち一般財源	1,524,912	1,518,460	8,721,948				
職員給与費(c)(円)	1,029,750	1,006,800	988,800				
人役・職員(人)	0.15	0.15	0.15				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	消耗品、修繕費の充実を図るとともにできれば有効なソフトウェア等も整備したい。また、学校図書館を整備していきたい。	③取組における課題(Check)	情報教育の更なる充実を図る。読書活動を更に推進する。生徒一人一人に応じた適切な進路指導が必要である。
②H30に実施した取組(Do)	パソコン用消耗品、修繕費を充実させ、情報教育の充実を図った。学校図書館の整備を進めた。進路に関する情報を充実させ、適切な進路指導を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	消耗品、修繕費の充実を図り、情報教育を更に充実させていく。中学校の進路指導や研修推進を図るための環境整備を進める。学校図書館を整備する。